

異種金属接合や車両ボデー軽量化のラストアイテム “Flowform” 2021年春、国内製造開始！

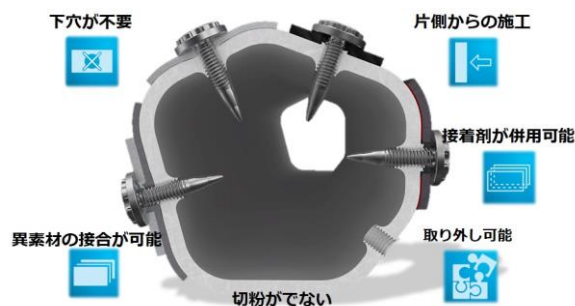


大阪府岸和田市を拠点に締結部品の製造販売を行う、株式会社新城製作所(大阪府岸和田市木材町 17-6 代表取締役 新城功)は、2021年春にドイツ・アーノルド社(Arnold Umformtechnik GmbH & Co.KG)の商品である Flowform(フローフォーム)の製造を開始します。

新城製作所の長年のパートナーであるアーノルド社は、2008年、自動車軽量化に必要な異素材接合技術である Flowform を開発しました。開発の背景には、現代の環境変化が大きく影響しています。自動車を含む運輸部門からの CO2 排出量は、全排出量の 20%を占めており、自動車産業にとって CO2 削減は非常に大きな課題となりました。自動車の軽量化は CO2 削減に効果的でしたが、異素材接合技術に課題がありました。アーノルド社はこの問題を解決するため Flowform を開発しました。Flowform の技術は「セルフピアッシング雌ねじ転造成型スクリュー」であり、欧州をはじめ、米国や中国などの自動車メーカーが、ボデー部品、ショックタワー、電気自動車のバッテリーパックなどで採用しています。

新城製作所は、2019年にアーノルド社と Flowform の日本国内での製造および販売に関するライセンス契約を締結し、日本での製造開始に向け生産設備の準備に動きました。なかでも、製造の核となる平ダイス式転造機を、2020年1月にドイツへ発注しました。Flowform の国内製造は、国内ユーザー様への安定供給を可能にする大きな取組みです。国内販売は、新城製作所の兄弟会社である美和工販株式会社(愛知県みよし市福田町権現山 29-60 代表取締役 近藤忠文)と共に行います。

SDGsにもつながる Flowform の日本国内製造開始を、より多くの方に知っていただきたくリリースいたしました。お取り計らいのほど、よろしくお願いいたします。



【Flowform の 5 つの特徴】

- ① 下穴が不要
- ② 片側からの施工
- ③ 接着剤が併用可能
- ④ 取り外し可能
- ⑤ 異素材の接合が可能

Flowform 紹介動画(Arnold 社 Arnold TV)
<https://youtu.be/acofriamyZY>

このリリースに関するお問い合わせは

株式会社 新城製作所

大阪府岸和田市木材町 17-6

TEL: 072-438-7779

担当: 河崎義治、表木豊(営業部)

e-mail: kawasaki@shinjo-mfg.co.jp

y.uwagi@shinjo-mfg.co.jp

<https://www.shinjo-mfg.co.jp/>

美和工販 株式会社

愛知県みよし市福田町権現山 29-60

TEL: 0561-32-2811

担当: 竹内英二、加藤貴純(営業部)

email: takeuchi@miwakohan.co.jp

katou@miwakohan.co.jp

<https://miwakohan.co.jp/>